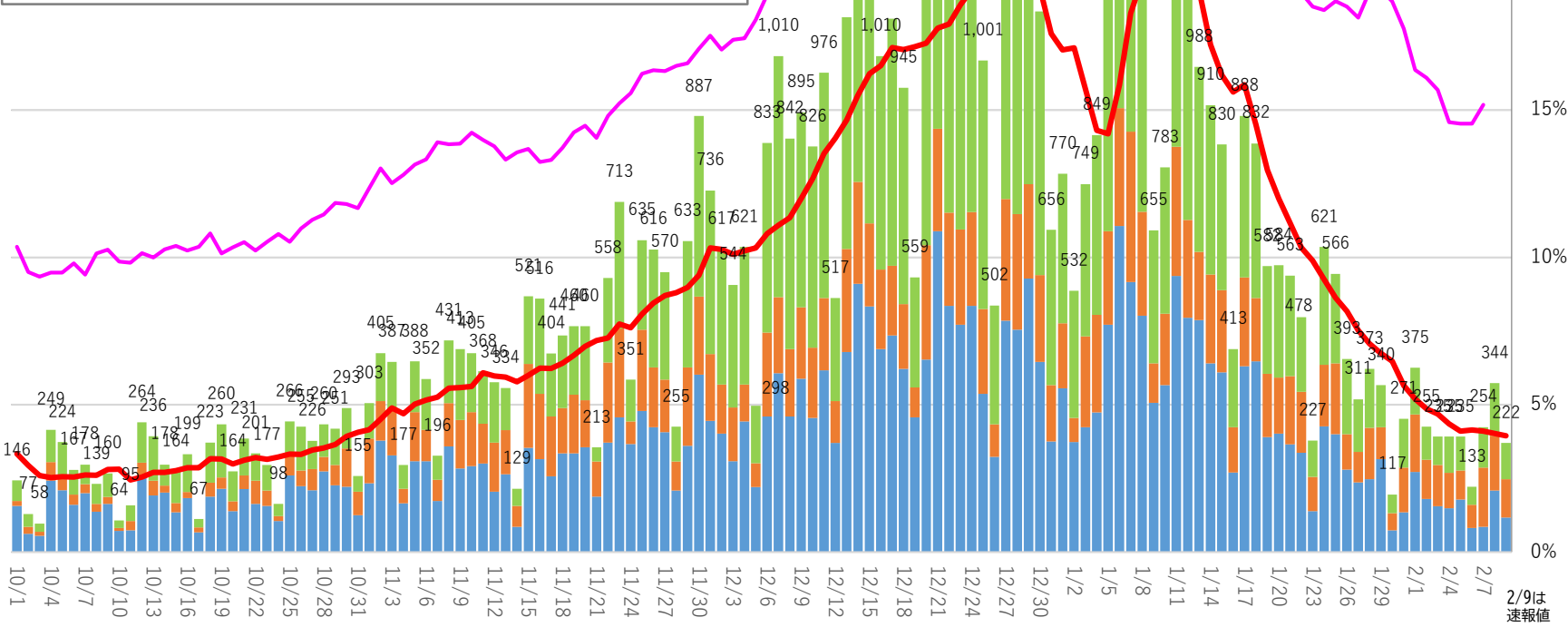
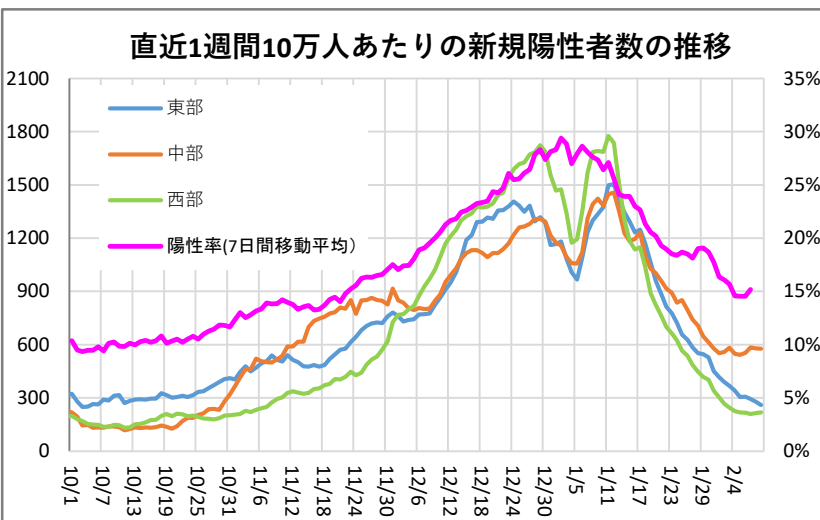


鳥取県の新型コロナウイルス感染症新規陽性者数の推移等

■ 東部 ■ 中部 ■ 西部 ■ 全県(7日間移動平均) ■ 陽性率(7日間移動平均)

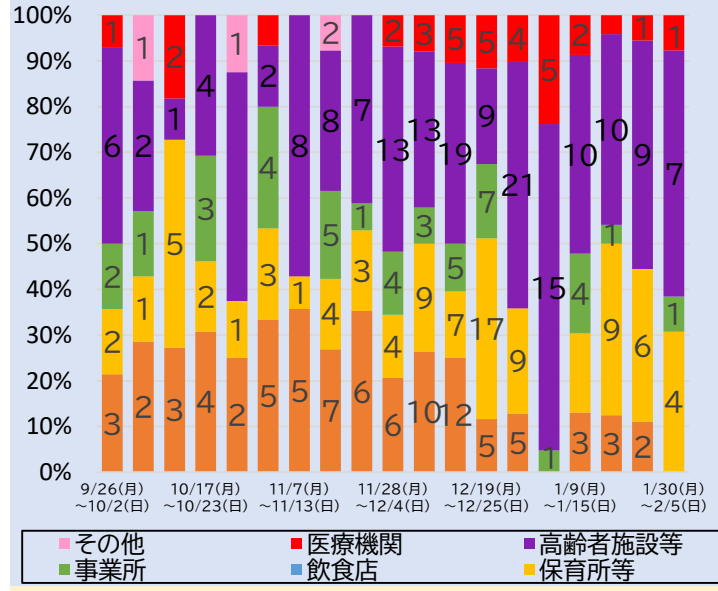
中部	鳥取県版新型コロナ警報
東・西部	鳥取県版新型コロナ注意報
全県	感染拡大警戒情報

1/6過去最高値 1,795人



【最近のクラスター発生状況】

▶ 全体の件数は減少傾向であるものの、高齢者福祉施設や保育所等を中心に引き続き確認



【最近のオミクロン新系統発生状況】

- ▶ 従来のBA.5系統(BA.5.2、BA.5.2.1、BF.5等)の割合は減少

12月	1月
65%	56%
- ▶ より免疫逃避能があると指摘される新系統(BN.1系統、BQ.1系統、BF.7系統)の割合が徐々に増加傾向

12月	1月
33%	41%

(XBB.1.5は現時点で検出なし)

2/9は速報値

鳥取方式「新医療体制」の検討

(1) 医療提供

- 5/7までは感染状況を踏まえ可変的に病床確保を継続(病床数を本来分と自院分とで確保)
 - ➔ 5/8以降は、今後国が示す具体的な方針を踏まえて対応
- 5/8以降も幅広い医療機関で新型コロナの外来診療・入院治療が可能な医療体制へと段階的に拡充
 - ➔ 患者受入れに必要な設備整備を推進(知事会を通じて国の財政措置を強力に要請)
 - ➔ 個人防護具等の感染対策の支援を一定期間継続

(2) 宿泊療養

- 利用実態を踏まえ、宿泊療養施設を段階的に縮小
 - ・ 現行6施設→3月末に3施設(各地区1施設ずつ)
 - ⇒ 国の制度の検討に従い5/7に運用終了も視野
 - ・ 併設の臨時の医療施設については、必要性を考慮し継続の要否を検討
 - ・ 5/8以降は在宅療養者の症状悪化時等の健康相談窓口を設置

圏域	東部	中部	西部
現在	2施設 (176室)	1施設 (29室)	3施設 (243室)
R5.4.1	1施設 (88室)	1施設 (29室)	1施設 (104室)
R5.5.8	運用終了も		

(3) 相談受付体制

- 5/8以降は在宅療養者や発熱患者等がかかりつけ医へ相談・受診
- 相談先に迷う場合等(かかりつけ医が無いなど)の相談体制を5/8以降も継続
- 上記の体制整備に当たり、医師会等との意見交換や医療機関への意向調査など、円滑な移行に向けた準備を進めていく

受診相談センターの機能を拡充し
「新型コロナ健康相談センター(仮)」
を新たに設置

■ 社会福祉施設、医療機関

重症化リスクのある者が入所等している施設における感染拡大防止対策は重要

⇒ 引き続き県に感染対策センターを設置



医療施設



福祉施設

5名以上陽性の報告



県 福祉・医療施設感染
対策センター

- ・早期投薬の勧奨
- ・感染対策に不安がある施設に対し、専門家派遣や必要な支援を実施

県への報告:陽性者1名以上→5名以上
専門家等による現地指導:必須→施設の希望
専門家等による改善確認:必須→施設の希望

■ 保育所、学校等

これまでのクラスター発生の経験や県の指導・助言などにより、各施設の感染対策のノウハウもできつつある

⇒ 引き続き各施設での感染拡大防止対策を講じていただき、市町村とも協力しながら必要な助言、
検査支援を行う。

■ 施設従事者へのPCR検査支援拡充(10/10補助) ⇒ 当面3/31まで継続

今後のワクチン接種の考え方

厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会(2/8)の概要

- ・令和5年度に行う接種については、重症者を減らすことを第一の目的とし、重症化リスクが高い者を対象とするが、それ以外の全ての者に対しても接種の機会を確保することが望ましい。
- ・小児及び乳幼児については、接種できる期間が短かったことから、当面、現在の接種を行うべきである。
- ・幅広い抗原に対する免疫を獲得するためにも、現在従来株ワクチンを用いている初回接種や小児・乳幼児の接種についても、オミクロン株対応2価ワクチンに早急に切り替えていくことが望ましい。
- ・秋冬に次の接種を行うべきである。
- ・秋冬に使用するワクチンについて検討を進め、令和5年度早期に結論を得るべきである。



3月開催の予防接種・ワクチン分科会において、対象者や時期、費用負担の在り方等について議論され、最終決定される。

- **3月末まで県・市町村ともに接種体制を継続し、希望される方が速やかに接種できる体制を確保**
＜県の接種体制＞ トリニティモール、新日本海新聞社、保健事業団、倉吉シティホテル、イオンモール日吉津、米子しんまち天満屋
地域や学校での要請に応え、ワクチンバスによる機動的な会場も設営
- **4月以降は、国の方針を踏まえた上で、市町村・医療機関と連携して体制を構築**
※小児・乳幼児接種については、4月以降も継続の見込み
- **秋冬の接種については、来年度に示される国の方針を踏まえた上で対応**

無料検査(PCR検査等)の延長

- 県民を対象とした無料検査期間を**令和5年3月31日まで延長**(現行:R5.2月末まで)
- 現在、県内118ヶ所の無料検査所において検査実施中(東部:48ヶ所、中部:28ヶ所、西部:42ヶ所)
＜問い合わせ先＞ 鳥取県無料検査コールセンター ☎0570-783-563 (土日含む毎日、9時~17時)



特措法第24条第9項に基づく要請

- 県内の感染や医療の状況は改善傾向 ⇒ **基本的な感染対策の徹底を継続要請**
- 今も新規陽性者数が高いレベルで推移 (県内全域、R5.2.9~3.31)

1月の大雪を踏まえた対応

倒木による孤立・停電防止の取組

倒木の恐れのある立木の事前伐採対策の検討



1/27からの大雪では、鳥取市（佐治町等）・若桜町・智頭町・八頭町で、雪による倒木で道路の通行止、停電が発生、集落の孤立状態が長期間にわたり生じた

倒木被害を未然に減らすための対策と、倒木被害から早期復旧できる体制の構築を検討

⇒関係機関等の連携体制の構築

- 事業者・道路管理者・市町村などによる事前伐採の役割分担・連絡体制構築などを行うスキームを検討

⇒危険木の事前伐採の検討

- 倒木被害の恐れがある立木の事前伐採を**県・市町村・事業者等**で進めるための支援策を検討

※事前伐採を行った八頭町（明辺・姫路）、若桜町では倒木被害が減少

あけなべ



車両立ち往生発生時の住民活動の推進

災害時支え愛活動支援制度の検討



1/24からの大雪では、国道373号で車両の立ち往生が発生
智頭町山郷地区の住民・消防団がドライバーへの食料配布、トイレ貸出、情報提供等を実施

車両立ち往生発生時の地域住民と連携したドライバー支援の仕組みづくりを検討

⇒道路管理者等による救助活動をサポートする地域住民による**ドライバー支援活動を推進する制度の検討**

- 協力地区を事前登録し、発生した場合の役場などへの連絡、救援の協力依頼、支援活動に必要な食料・物資等の調達・提供 など
- ドライバーへの支援活動
 - ・食料・水、物資（毛布等）の提供・配布
 - ・避難（休憩）場所の開設・提供、トイレの貸出し
 - ・各種情報提供・声掛け（安否確認）等

豚熱対策等の強化

県内養豚場への対応

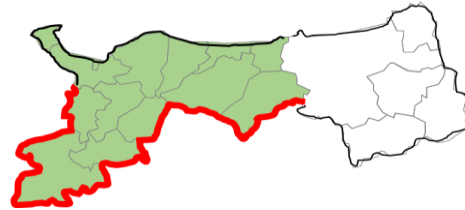
○家畜保健衛生所が消毒指示・巡回指導を実施（2/1～）

- ・県内全19養豚場へ消石灰等の配布による消毒の実施
- ・野生動物侵入防止柵等の破損等の点検実施

野生いのしし豚熱サーベイランスを強化！

- ・兵庫、島根、広島で野生いのししの豚熱感染拡大中！
- ・中西部地域のサーベイランスの強化!!

※感染確認区域に限らず県内でジビエ利用される野生いのししについて検査を拡大!!



R 5.2.9 時点 R 5.3.31 R 6.3.31

320頭検査 → 600頭 (ジビエ利用分含) → 1,600頭検査

■ 県内初めて野生いのしし豚熱感染

- ・1/27に八頭町で見つかった死亡野生いのしし
- ・県内飼育豚は全頭ワクチン接種済・・・移動制限等の措置は必要なし
- ・発見場所から半径10kmを感染確認区域と設定

令和4・5年度の家畜防疫対策

○豚熱や高病原性鳥インフルエンザの対策を強化!!

【既定予算】

※**特定家畜伝染病危機管理対策事業 3千万円**

- ・豚熱サーベイランスを強化するため、検査室の増設、試薬等の資機材の購入をただちに実施

【令和5年度当初予算】

※**鳥インフルエンザ等家畜防疫施設整備事業ほか 3億円**

<豚熱対策>

- ・増加する豚熱検査に対応するため、リアルタイムPCRの導入及び獣医師（検査員）1名の増員

<高病原性鳥インフルエンザ対策>

- ・県の家畜防疫資材備蓄倉庫の改修等による家畜防疫機能強化
- ・県内各養鶏農家の畜舎前室整備などウイルス侵入防止を支援

県民の皆様へ



鳥取県

豚熱は人に感染することはありません



鳥取のいのしし肉をこれまでどおり
安心してお召上がりください！

食中毒予防の観点から、いのしし肉を食べる際は、中心迄よく加熱してください



豚熱の人への感染は、国際機関（OIE：国際獣疫事務局）の情報においても、世界的に報告されていません。

県、19市町村、JR西日本で連携協定を締結

鉄道ネットワークを活用したまちづくりに取り組み、持続可能な地域公共交通の実現と地域の活性化を目指し、連携協定を締結します。



協定締結式の概要

- ▼日時 2月10日(金) 13:30~14:00
- ▼場所 県庁議会棟3階 特別会議室
- ▼出席者 佐伯JR西日本山陰支社長、深澤鳥取県市長会長、宮脇鳥取県町村会会長、平井鳥取県知事
- ▼連携事項
 - ・観光列車等を通じた観光振興及び交流人口の拡大
 - ・駅を核としたまちづくり
 - ・MaaS推進やキャッシュレス化をはじめとするDXの取組 など

米子駅を中心とした新たな賑わい形成

米子駅南北自由通路の供用開始を契機に、米子駅周辺地域の一体的な賑わい形成を米子市などと推進します。

- 県、米子市、JR西日本山陰支社、米子商工会議所の四者で**2月17日(金)**に連携協定を締結

連携事項 ▶ 米子駅周辺の一体的な賑わい形成
地域公共交通を活かした歩いて楽しいまちづくり
米子駅を核とした地域・経済活性化

- 米子駅前だんだん広場を米子市へ管理移管
米子市の都市公園としてイベント等に活用
県議会に提案の上、令和5年4月1日を目途

特急「やくも」リバイバル運転

2月17日(金) 11:15~11:25
米子駅で記念セレモニー

- 岡山からの初便(やくも5号)で米子駅に到着のお客様へスーパーやくも限定ノベルティ等(記念乗車証、ペーパークラフトティッシュケース、星空舞等)進呈



スーパーやくも(紫色)
1994年12月~2006年3月運転



記念乗車証



ペーパークラフトティッシュケース

インバウンドチャーター対策

- ①2月9日午後3時15分～ ポストコロナ人流・物流活性化プロジェクトチーム会議を開催
⇒韓国や台湾からのインバウンド受入促進に向けた機運醸成を図る。
- ②県幹部訪韓⇒今週末、1日も早い定期便再開の働きかけ



エアソウルA321



中華航空A321neo

⇒チャーター便を成功させるとともに、韓国や台湾市場への情報発信や旅行会社との商品造成に向けた連携プロモーションを加速させ、米子ソウル定期便の早期運航再開や台湾との定期便化を目指す。

韓国	期間:4月9日(日)～23日(日) (日・水・金、7往復[6ツアー]) 旅行社:ロッテ観光 機材:A321(195人乗り) 区間:仁川国際空港～米子鬼太郎空港 ※ 米子鬼太郎空港のCIQ等受入環境は、2月中に整備完了予定
台湾	期間:3月28日(火)、4月1日(土)、5日(水)、9日(日) (4往復[3ツアー]) 旅行社:鳳凰旅行社 機材:A321neo(180人乗り) 区間:台湾桃園国際空港～米子鬼太郎空港

鳥取砂丘フィールドハウス開館

鳥取砂丘西側で環境省と県が整備を進めていた施設の名称とオープン日が決定！

○全体の名称:「鳥取砂丘フィールドハウス」、施設の愛称:「オアシス館」「風紋館」

○オープン予定日:4月21日(金)前後



【オアシス館】

大型モニターや大型マップ等で、観光客及びトイレや休憩に立ち寄った利用者に、くつろぎながら砂丘の魅力を紹介



オアシス館(県)

風紋館(環境省)

【風紋館】

散策、イベントやボランティア活動等の前に解説等を行うレクチャールームやジオラマ、タブレットで砂丘のみどころを紹介

電話リレーサービスの無料利用開始

- 鳥取県では、「全国初の手話言語条例の制定(H25)」、「遠隔手話サービスの実施(H25～)」、「県独自の電話リレーサービスの導入(H27～R3)」など全国で先駆けとなる取組を展開

さらに

きこえない人・きこえにくい人の情報伝達ツール「電話リレーサービス」の利用料が県内では2月から無料に！

◆電話リレーサービスとは



電話リレーサービスの利用形態として、地元自治体が利用料を負担する「地域登録」が2月1日からスタート

「地域登録」の導入は鳥取県が全国初！

[サービス提供機関]

一般財団法人日本財団電話リレーサービス

(サービスの提供は、24時間365日)

※2/12に米子コンベンションセンターで利用者向け研修会を開催

ねんりんピックに向けた準備加速

R5当初予算：176百万円
組織定数：6名→20名に拡充

◆プレ大会（20種目）開催（県支援1／2）

- ✓ 剣道(6月・米子市)、卓球(11月・倉吉市)、eスポーツ(9月・境港市)、サイクリング(10月・大山町)、グラウンド・ゴルフ(6月・湯梨浜町)、ペタンク(10月・三朝町)など

◆県を挙げた「おもてなし」（県民参画事業の実施）

- ✓ 大会ボランティアセンターの設置・運営、ボランティアの募集・育成、県民参加型のおもてなし運動の企画・運営を一体的に実施 ⇒ **先催県にはない独自の枠組み**
- ✓ ボランティアミーティング等を通じて企画アイデア等の意見を取り入れ 例) 花いっぱい運動、イベントでのPR活動、・歓迎イベント 等

◆情報発信の強化・機運醸成

- ✓ 大会キャラバン隊を結成し、県内外のイベントでPR
- ✓ 「あおやかみじろう」のLINEスタンプを制作

テーマ：「咲かせよう 砂丘に長寿と 笑みの花」

R6.10.19～22 スポーツ・文化29種目 延べ約40万人（大会関係者、観客等）



とっとりへウェルカニコーディネーターによる新たな魅力発信

鳥取移住CAによるYouTubeチャンネル「とっとりdiary」を開設!!

チャンネル名：「とっとりdiary」(YouTube)

開設・公開日：令和5年2月9日

チャンネルサイト：

<https://www.youtube.com/@tottorivlog>

動画内容：鳥取県へ移住兼業を行っている

「とっとりへウェルカニコーディネーター」による「とっとり暮らし」魅力動画配信

⇒ 今後月1本ペースで順次公開予定!!

・移住CAによる鳥取での移住報告会も実施予定

☆ANAによる客室乗務員の多様な働き方に対応した新たな制度拡充により、来年度も4名のCAが継続居住予定



→ 動画はこちら

まんが王国とっとり 生誕101年水木しげるの生誕祭開催!



☆水木しげる先生の生誕101年目を記念したホールイベント&ライブ配信を3月5日に境港市で開催。

☆同日午前中、水木しげるロードに水木先生のご家族をお迎えし、3年振りとなる妖怪パレードとセレモニー。



都市圏の人材も注目! 「鳥取で副業・兼業」

- 「鳥取県で週1副社長」と銘打ち、年4回WEBで副業・兼業人材を募集
- 「Loino(ロイノ)」内の特設サイトで、**今年度最後となる第4次募集を開始**
- 今年度は、第3次募集までに、約3,000人が応募 (2/13(月)～26(日))
- ⇒ **152社253人(1月末現在)のマッチングが決定!**
- 副業・兼業の募集企業数・応募者数ともに、本県が全国第1位を独走!

就活スタート! 「とっとり企業ガイダンス」開催!

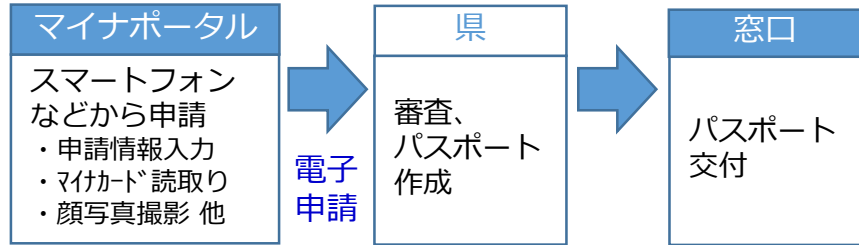
- 県内最大級の合同企業説明会! 企業プレゼンテーションや相談コーナーも充実**
- ・3/8(水)米子コンベンションセンター、3/10(金)鳥取産業体育館で開催
- ・企業(102社(米子)、101社(鳥取))とR6春大卒者等が交流

- ☆無料送迎バス→大阪便・鳥取県内便・片道OK
- ☆県公式アプリ「とりふる」→300ポイントGET
- ☆とっとり企業まるわかりBOOK→会場限定プレゼント



旅券の電子申請及び旅券手数料電子納付の開始

◆ 令和5年3月27日に全国で旅券の電子申請が開始



※新規申請などは戸籍謄本郵送

◆ 鳥取県では3月27日から電子申請と同時に旅券手数料の電子納付も全国に先行して開始予定

